

平成25年度 十和田市褒賞

❖公共の福利増進に功労があったかたや、広く市民の模範となるかたをたたえるものです。



とわだしせきじゅうじほうしだん
十和田市赤十字奉仕団 (委員長 福村 トクエ)

地域福祉の向上発展に貢献

昭和37年の結成以来、50年余りの長きにわたり赤十字の「博愛・人道」の精神のもと、毎年献血推進活動や防災訓練への参加、非常用炊き出し研修会、健康教室・介護教室の開催など、地域や市民のための各種奉仕活動を献身的に展開し、地域福祉の向上発展に大きく貢献した。

そのほか、地域美化活動や近隣市町村との交流研修、障害者介護施設への訪問など、各種ボランティア活動を実施するとともに、青少年ボランティアの育成など、地域ごとのさまざまな奉仕活動に尽力した。

また、東日本大震災発生時には、一人暮らしの高齢者宅を訪問するなど、迅速な救援活動に寄与した。



ふるたて
古舘 きよさん
(71歳・西十三番町)

教育の振興発展に貢献

昭和47年に学校法人さつき幼稚園を設立以来、41年余りの長きにわたり理事長および園長として、幼児教育に情熱を注ぎ、教員と保護者の明るい人間関係の維持や、幼稚園を地域の子育て支援の場に解放し、特色ある幼児教育を実践するなど、幼児教育の振興発展に大きく貢献した。

また、現在まで十和田市私立幼稚園協会会長を通算約6年間、青森県私立幼稚園連合会常任理事を12年間務めるなど、市内はもとより県内の私立幼稚園における課題研究などに指導的役割を果たし、幼児教育の振興に尽力した。

そのほか、十和田市教育委員会委員を8年間、青森県私立学校審議会委員を7年間務めるなど、市の教育、学術、文化の振興ならびに私学教育の振興に寄与した。



ふるかわ
古川 あきさん
(77歳・三本木字並木西)

保健衛生の向上発展に貢献

平成10年から現在まで15年余りにわたり在宅看護職ボランティア団体「ともしび会」の会長を務め、保健師としての豊富な知識や経験を生かし、会員の資質向上をはじめ会を取りまとめるとともに、市や関係機関が行う健康教育や保健指導、さらには市が推進するセーフコミュニティ普及活動への協力や、こころの広場の傾聴ボランティアなど、保健衛生の向上発展に大きく貢献した。

また、平成12年から現在まで13年余りにわたり十和田・三沢地域産業保健センターコーディネーターとして、中小規模の事業所に働く労働者の健康指導や健康相談、研修会開催など、労働衛生の向上発展に尽力した。



こせき つとむ
小関 力さん
(67歳・西十五番町)

産業経済の振興発展に貢献

平成6年から現在まで19年余りにわたり十和田商工会議所常議員を務め、会員対策委員長や商業対策委員長として、公正な判断力と指導力を発揮し、低迷する職場健診の受診率向上や中心商店街活性化対策に取り組むなど、市の商工業の振興発展に大きく貢献した。

また、十和田市物産協会の会長および副会長として、各種物産展などのイベントに参加し、市物産品の販売はもとよりパンフレット活用による物産品の販路拡大に努めるなど、市内商工業の活性化に尽力した。

そのほか、十和田市観光協会副会長として、秋まつりや花火大会などのイベント開催や観光情報の発信、さらには協会の合併推進により運営基盤の充実強化に努めるなど、市の観光振興に寄与した。

平成25年度十和田市 文化に関する表彰

❖文化賞は、文化の向上発展に特に顕著な業績を示し十和田市の誇りに値すると認められたかた、文化功労賞は、永年にわたり文化の向上発展に貢献しその功労が特に顕著であるかた、文化奨励賞は、優れた文化の創造および普及活動を続け市民の文化向上に寄与したかたに贈られます。

❖文化奨励賞



わかざわ ざとし
若澤 智さん
(58歳・西十五番町)

勸日本レクリエーション協会会員として子どもたちの演劇指導にあたるほか、市教育委員会主催の「十和田民話フェスティバル」の演出を務めた。今後さらなる活躍が期待される。(活動年数33年)

❖文化奨励賞



ひない まさこ
比内 順子さん
(71歳・三本木字並木西)

県内の各種俳句大会に出品し、好成績を収め、賞を多数受賞、市の文化向上に寄与した。今後さらなる活躍が期待される。(活動年数32年)

❖文化奨励賞



めとき ふみこ
目時 二三子さん
(72歳・西二十二番町)

ふおるむ美術研究会に所属し、入選作品が多数あり、また、研究会の事務局を担当して会の運営、定期展の開催など活動している。今後さらなる活躍が期待される。(活動年数14年)

❖文化功労賞



かなざわ ひろし
金澤 浩さん
(71歳・西二十一番町)

市文化財保護協会の理事や事務局長として会の運営企画や研究発表会などの開催に尽力し、広く一般市民の文化に関わる意識の向上に寄与した。(活動年数41年)

❖文化功労賞



ほらない たつお
故 洞内 辰男さん
(享年73・洞内字杉ノ沢)

南部洞内神楽保存会および洞内南部駒踊保存会で活躍し、数多くの後継者を指導育成するとともに、神楽および駒踊りの伝承と保存活動に多大なる貢献と功績を残した。(活動年数58年)

❖文化功労賞



とわだしさどうきょうかい
十和田市茶道協会 (会長 益川 博子)

茶道文化の普及発展を図り、表千家、裏千家、江戸千家、遠州流、大日本茶道学会、煎茶方円流の六流派16人の茶道教授により設立し、各流派交代で掛釜を実施し、これまで118回を数え、多くの方から支持され、茶道文化の発展に寄与した。(活動年数30年)

❖文化賞



おがさわら かおる
小笠原 馨さん
(小笠原 カオル)
(71歳・東二十四番町)

十和田市の文化に関わるさまざまな団体の構成員となり、それらの団体の主要な役員となって活躍するほか、文化新聞の発行を通じて、本市の文化発展向上に寄与した。(活動年数35年)